

No. 89
2016.11.1

宇治田原町 議会だより

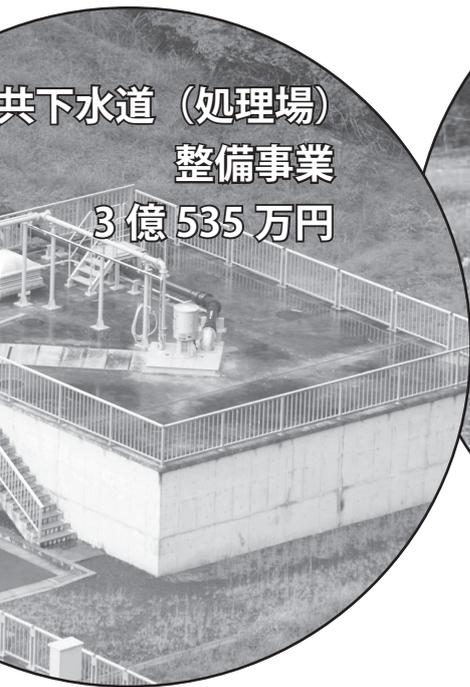


《目次》

9月定例会	2~3P
委員会報告	4~7P
8議員が町政を問う	8~16P
視察研修報告	17P
議会報告会	18P
インタビュー(谷村稔さん)	19P



平成27年度決算を認定



共下水道(処理場)
整備事業
3億535万円

郷之口末山



河川改修事業(実養治川)
4,269万円

南地区

平成28年第3回定例会は、9月5日から10月3日まで開催した。予算関係3件(補正予算)、条例関係1件(制定1件)、について提案があり、原案通り可決した。また、意見書2件が提出された。平成27年度決算6議案については、監査委員を除く11名で決算特別委員会を設置し審議、いずれも原案通り認定した。

一般質問には8人の議員がたち、活発な議論を展開した。

各会計の決算一覧

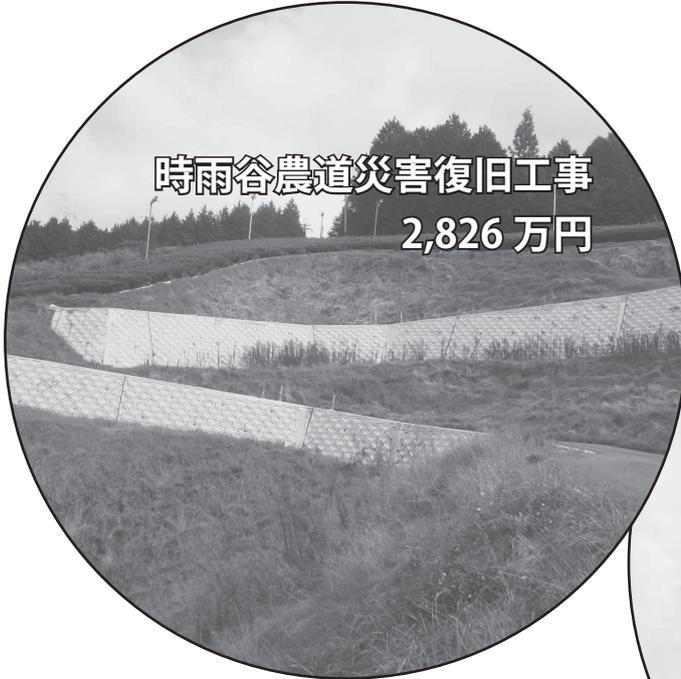
(千円以下切捨て)

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	審議結果	
一般会計		47億 395万円	45億1,352万円	1億9,043万円	認定 賛成7：反対4	
特別会計	国民健康保険	13億6,756万円	14億2,676万円	△5,920万円	認定 全員賛成	
	後期高齢者医療	9,308万円	9,216万円	92万円	認定 賛成9：反対2	
	介護保険	保険事業勘定	7億5,088万円	7億2,166万円	2,922万円	認定 賛成9：反対2
		介護サービス	429万円	265万円	163万円	
	公共下水道事業		9億7,288万円	9億6,635万円	653万円	認定 全員賛成
水道事業会計	収益的	3億 360万円	2億7,627万円	2,732万円	認定 全員賛成	
	資本的	1,523万円	1億5,958万円	△1億4,434万円		

決算の費用対効果を検証し、

定例会

実施した主な事業



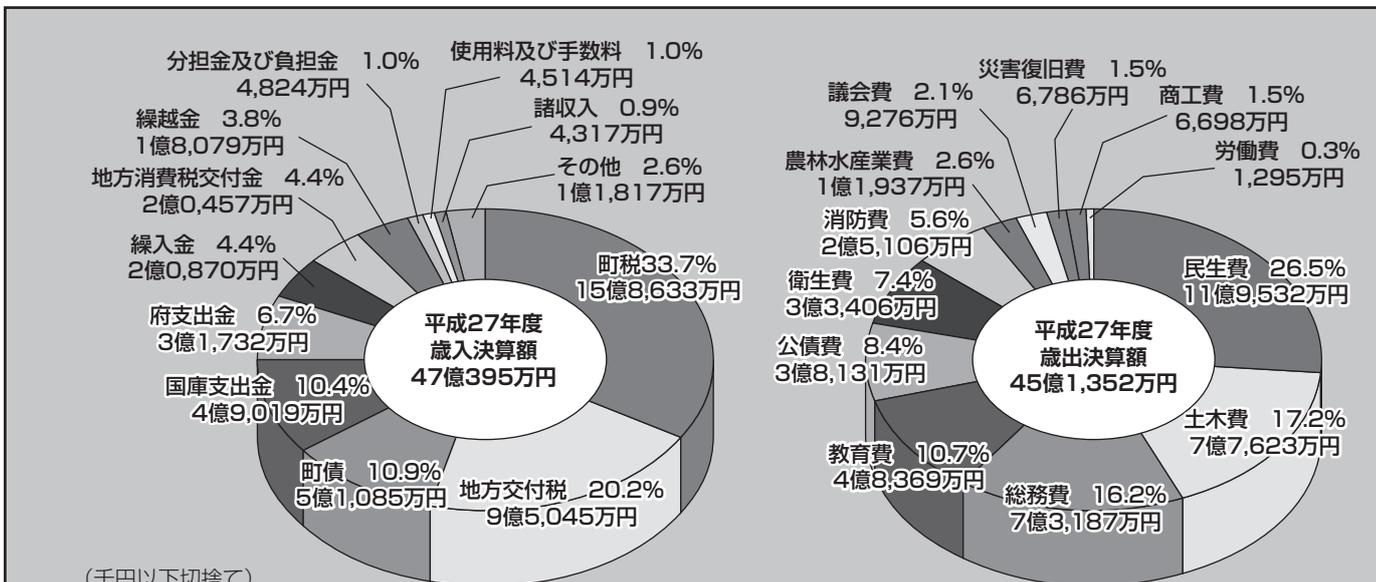
時雨谷農道災害復旧工事
2,826 万円

禅定寺地内



ソーラー・LED 街路灯
整備事業
358 万円

住民グラウンド横



(千円以下切捨て)

※端数整理上、決算合計額と一致しません。

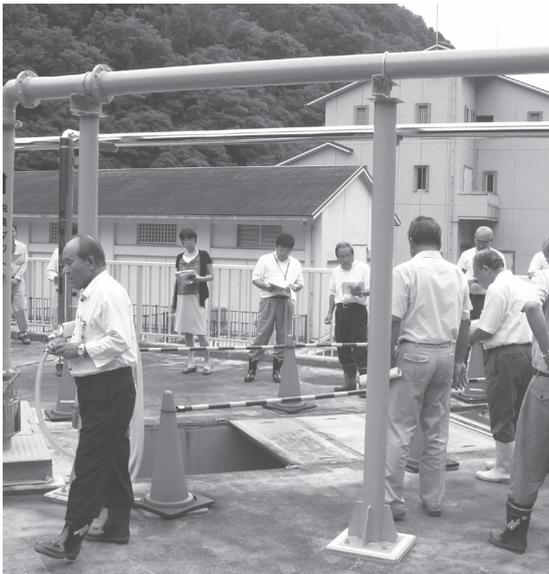
決算特別委員会の審議

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に山内実貴子議員、副委員長に奥村房雄議員を選出し、審議した。

9月21日、決算特別委員会を開会し、平成27年度一般会計、特別会計、水道事業会計について個別審査を行った。

また26日、ソーラー・LED街路灯整備事業、住民体育館・トレーニングセンターの両施設、河川改修事業(実養治川)、

27日、総括審議の後、



現地審査(下水処理場)

それぞれの議案について採決を行い、決算特別委員会を開会した。

主な質疑

総括

問 様々な災害に対し、考えられる減災対策をひとつひとつ確実に実施し、災害に強い町にしていく必要があるのではないか。

答 避難所の追加、防災訓練等の実施、災害時相互応援協定の締結など様々な取り組みを行い、災害の予防と被害を最小限に食い止めることを基本に、防災関係機関との連携を密にし、防災・減災対策に取り組んでいく。

問 子育てするなら宇治田原で、と言われるような思い切った子育て支援策が必要と思うが、どの

決算監査意見書(要旨)

平成27年度宇治田原町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、それぞれの歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査、財産に関する調査、各種関係諸帳簿及び証書類等を審査した結果、各会計とも良好であると認める。

現地調査についても、資料及び現地での事業状況を審査した結果、事業の執行は適正であると認める。

今後においても、人口減少、少子・高齢化等により、本町を取り巻く状況は厳しい状況で推移することが予想されるところであるが、中長期的な視野に立ち、なお一層、適切な事務執行に努められることを期待し、監査の意見とする。

監査委員

ように考えるか。

答 本町独自の子育て支援、本町に人を呼び寄せる施策を講じる必要性は認識しており、具体施策の実施に向けた検討を早期に取り組んでいく。

問 インフラ整備や生活周辺整備等の投資的経費に、大きな伸びを示した、平成27年度の決算について、

答 どのように総括されているのか。

答 次代を担う子ども達が、昼間過ごしている小中学校に情報伝達することを一番と考えており、平成28年度にIP告知システムの整備を進めている。個別受信機については、平成30年度以降に導入検討としている。

問 災害時情報伝達システムについて、個別受信機が有効だと思うが、どのように考えているのか。

答 保育所運営について、待機児童はあったのか。副担任制導入に伴い体制が充実したと思う

一般会計

問 保育所運営について、待機児童はあったのか。副担任制導入に伴い体制が充実したと思う

答 保育所運営について、待機児童はあったのか。副担任制導入に伴い体制が充実したと思う

が、どうだったのか。

答 国でいうところの待機児童はない。副担任については、乳児クラスや加配保育士として配置し、同じ保育士が継続的に関わることで、子どもの精神的な安定を得るとともに、保護者との係わりも大事にすることができた。

問 プレミアム商品券について、どのように総括をされているか。

答 アンケートの結果から、地域の新たな消費喚起として、消費拡大や地

域の活性化に繋げることができた。

問 小中一貫教育推進事業について、学校施設の在り方が決定されず遅れている。総合教育会議の中で、方向性を導き出すべきではないのか。

答 施設の在り方については、教育委員会で責任をもって判断する。総合

教育会議の中で町長の意向等を真摯に受け止め、検討していくが、スケジュールについては、现阶段において示せない。



町立保育所

決算委員会

討論 一般会計

反対

災害時の住民への情報伝達は命を守るためにも重要だが、平成30年度から検討とのこと。町の「近々」とは2年も3年も先か。
小中学校は統廃合でなく分離型とし、中途半端な小中一貫教育は見直すべき。高校生通学費補助は、学期ごとの支給を。町長がいう「子どもは町の宝」にふさわしい施策の充実を求める。

(今西久美子議員)

賛成

決算額は、歳出ベースで対前年度比、約3億8千万円増、9.3%の伸びで、投資的経費は約1億3千万円増、約25.8%と大きな伸びとなった。
これは山手線整備事業をはじめ、生活道路・河川・橋梁の改良整備等のインフラ整備に積極的な取組みの結果で、大いに評価する。

(奥村 房雄議員)

自由討議

高校生通学費補助金については、保護者の経済的負担を軽減するためにも、全額補助にすべきとの意見が多く、定住・移住対

策の一環として、速やかな

制度見直しの検討をされる

よう附帯意見をつけて

認定すべきとの結論に達した。

《附帯意見》

「宇治田原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる人口減少対策の一環としての定住・移住施策及び子育て施策の更なる充実・強化は、本町の喫緊の課題である。

このため、総合戦略に掲げる「子育ての負担軽減に関する支援の充実」を図る取り組みとして、『高校生通学費補助金』については、保護者の経済的負担を実質100%軽減する制度とするため、補助率を10/10に引き上げるなど速やかに見直し検討を行うこと。



通学の足となる路線バス

国保会計

問 平成30年からの国保会計の広域化で市町村の保険財政が安定化しているのか。

答 基本的には保険財政は安定する仕組みと考える。

後期高齢者医療会計

問 収入未済額があり、徴収率も前年度よりも下がったということだが、それらの要因は。

答 約100件の収入未済があるが、京都府広域連合という一つの組織となつているので、徴収率の向上に努めていかなければならないと考える。

介護保険会計

問 3,200万円もの不用額が出ているが。

答 予算現額は当初の介



介護施設

護保険の計画の数値により計上しているの、その関係で不用額が出てきたと思われる。

討論

反対

(安本 修議員)
計画の見直しのたびにサービス切捨て、負担増が押し付けられている。利用の抑制、重度化する危惧がある。さらに、介護報酬のマイナス改定で事業所は厳しい経営が迫られ、サービスの低下につながりかねない。

公共下水道事業会計

問 増設後3,900㎡というのは、人口にする何人くらいまで処理可能なのか。

答 一人当りの排出量から8,600人となる。増設前の処理能力は3,100㎡、その処理人口は6,800人であり、平成28年度末の普及人口見込み約7,600人となることから増設に取り組んだ。

水道事業会計

問 事前のシミュレーションと比べて、実際、27年度の決算はどうだったのか。

答 全体では0.2%の減収となつたので、目標に近い数字、シミュレーションどおりの結果が出たと認識している。

文教厚生常任委員会

宇治田原町地域子育て支援センター設置及び管理に関する条例

町立保育所内に設置している地域子育て支援センターを旧宇治田原町診療所に移設し機能の拡充を図るもの。

問 駐車スペース及び駐車場内での子どもの安全対策は。

答 限られたスペースの中で区画整備をして対応する。行事等の際には、係員を配置し、事故のないよう努める。

問 開館時間や休館日が条例になく、規則で謳われているのは何故か。

答 町の直営施設となるので、既存の施設と同様に利用時間等は規則に委任させていただいた。

問 土日が休館日となっているが、土日のニーズが高いと思うが。

答 職員の体制等を全て整えた上で、拡充していきたいと考えている。

自由討議

土日を開館することは必要である。人口1万人を目標に掲げて定住施策を推進する中で、子育て支援に力を入れて、対外的なアピールも含めて取り組むことは重要。また、施設が新しくなるこの機会に土日の開館と開館時間の延長をすべきである。

賛成

(今西久美子議員)

地域子育て支援センターが広い場所に移ることは歓迎するが、条例に開館時間、休館日を定めるべき。土、日曜日の休館は、保護者のニーズに合わず、開館とすべき。

【可決 全員賛成】



新しくなった子育て支援センター

補正予算特別委員会

一般会計

うじたわら空き家バンク構築事業

問 移住・定住を促進するにあたり、コーディネーターの配置等は。また、取り組みにはスピード感覚を持つて実施を。

答 空き家バンクや移住・定住を進めるには、どのような制度や対応が必要か、また、人材、体制等も今後の予定を踏まえ議論していく。

年内に空き家等の対策・活用に向けた総合的な方針や具体的な支援制度を示したい。

問 マスメディア等を利用した対策は。

答 報道機関等を活用したPRは非常に重要である。

家庭用太陽光発電・蓄電設備設置補助事業

問 単年度で終了するの。今回同時設置に対する補助となっているが、既に太陽光発電を設置している家庭が多い中、蓄電池のみの補助があれば促進できるか。

答 次年度以降も府の補助が続く限りは続ける。今回は同時設置の補助として進める。

町内企業就業促進事業

問 この事業に対し企業の参加はあるのか。

答 これから声掛けをして募集する。

問 就業支援としてセミナーを実施することはインパクトの強い事業となるか。

り、就労に繋がる一步となるが考えは。

答 企業・学生の意見をアンケートで拾い方向性を考えたい。

学校施設環境整備事業

問 今回の補正予算で全て修繕できるのか。

答 当初で計上している予算と併せて実施する。

共同調理場運営費

問 年数が経過すれば大型備品や施設の修繕費がかさむが修繕計画や更新計画の策定は。

答 点検を実施し5年から10年の更新計画を立てている。

自由討議

空き家バンクは定住・移住の一環として実施されるもの。施策は全体的な施策のパッケージとして取り組むべきであり、きめ細かく多岐に渡って準備が必要。地元住民との交流、全町あげての定住移住施策の推進、補助制度の必要性、アンケートの実施等々の意見が出された。

【可決 全員賛成】

国保会計

【可決 全員賛成】

介護保険会計

【可決 全員賛成】

9月定例会意見書

◎北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書

北陸新幹線京都・新大阪間については、「京都府南部ルート」が最適なルートであり、このため、「北陸新幹線京都府南部ルート」の実現と関西国際空港へのアクセス改善の実現を国に対して求める。

◎次期介護保険制度の改正に関する意見書

次期介護保険制度改正における生活援助、福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から現行通り介護保険給付の対象として継続することを強く求める。

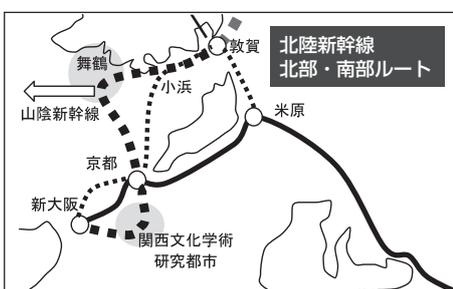
討論

【反対】

(今西久美子議員)

建設工事の概算工事費も示されない中で意見書提出は無責任。巨額の負担は住民生活へのしわ寄せにつながる。国・府は、大型公共事業より福祉、教育、子育て応援の政治への転換を。

【可決 賛成多数】



一般質問

ズバリ! 町政を問う

9月8日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	奥村房雄	1. 府道宇治田原大石東線の安全対策は 2. 認知症対策に本腰を 3. ずばり町長の再出馬の思いは
2	谷口重和	1. シビック構想の実現は 2. 地域密着型介護老人福祉施設の整備を 3. 不動産借地問題 4. 西側での災害応援協定は 5. ため池の保全管理に補助を 6. 末山くつわ池自然公園の再開発を
3	垣内秋弘	1. 行政評価システムの状況と外部評価は 2. 教育問題、課題対応は 3. 楢枯れの予防策は

	質問者	質問事項
4	上林昌三	1. 英語を話せる職員の配置を 2. 荒廃農地の市民農園整備化を 3. 街路樹の整備を
5	山内実貴子	1. 認知症を知る取り組みを 2. 健診、受診機会の拡充を 3. 町の情報発信を積極的に
6	今西久美子	1. 介護保険制度の改訂に反対を 2. 学童施設の改善を
7	原田周一	1. ゴミの戸別収集、具体策は 2. 買い物難民対策を
8	稲石義一	1. 京都府No. 1の学力を目指して 2. 公共下水道特別会計の健全化を 3. 住んでよかったと実感できるまちづくりを

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場2階総務課で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。ただくか、議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

ずばり、町長の再出馬の思いは

【答】しかるべき時期に総合的に判断する

【質問】

町長は山手線整備をはじめ、平成25年台風18号の甚大な災害にも迅速に対応され、また消防団装備の充実をはじめ諸事業を実施された。また一方で今、「第5次まちづくり総合計画」や「地域創生総合戦略」の具現化に向けて今すぐ推進する必要がある。その為にも町長にはそのリーダーとして二期目に向け是非、再出馬を願いたい。

【答弁(町長)】

まず本年度の各種事業の確実な執行に全力を注ぐべきと考え、その上で、公約の実現度を総点

検し自己採点を踏まえ、

支援者や後援者の素直な意見・評価も真摯に聞

き、しかるべき時期に、

総合的に判断させていた

認知症の現状と対策は

【答】各種認知症予防事業を開催

【質問】

当町では現在、認知症

【答弁(介護医療課長)】
認知症高齢者の日常生活

の方が推計

どれくらい

おられるの

か。また、

その現状と

対策は。



ふれあいサロン交流会



奥村 房雄
議員

活自立度Ⅱ以上の方の推

計値を用いて、推計した

ところ約200人とな

る。対策として、元気は

つらつ若返り塾をはじめ、各種認知症予防事業

を開催している。

【質問】

本町のサポーター数は

179人で近隣市町、3

市3町では下位にある。

このような状況のもと認

知症サポーター数の増員

計画をいかに進めるべき

か、まさに待ったなしに

取り組むべき課題と考え

るが。

【答弁(介護医療課長)】

今後、町広報紙等を活用して啓発するとともに

に、見守りネットワーク
が広がるよう出前講座や
ポーターの養成に努め
各種団体等の研修機会を
捉え、さらなる認知症サ
ポーターの養成に努め
る。

府道大石東線の安全対策は

【答】急激な変化を抑えた道路設計と路面標示を要請



拡幅事業中の大石東線(禅定寺)

【質問】

拡幅され、2車線とな

ると減速することなくそ

のままのスピードで走行

する車があるのではない

かと危惧。そこで減速対

策はもちろん、全ての通

行者が安心安全に通行で
きるのか。

【答弁(建設環境課長)】

現況の曲線長を長く

し、曲線の中心までの距

離を伸ばすことにより、

現在のような急激な変化

を抑える設計で、減速効

果のある路面標示等によ

る、速度低減策を京都府
に要請する。

くつわ池を再開発しよう

【答】本町観光の柱としたい

【質問】

昨年は町有林を桜や紅葉の山に変え吉野の千本桜に匹敵する観光名所を作ろうと発言をし、今回議員活動4年最後の質問として、末山くつわ池自然公園を、3年間で5億程度の設備投資を行い、年間10万人以上の集客を見込み、第5次総計に組み入れては。

【答弁(町長)】

多くの人に思っていただけのような公園整備に取り組み。

【総括】

観光振興施策については、思い切ったことをやる。すなわち私は宇治田原町全体をテーマパークにしてはと考え、提唱する。

シビック構想の可能性は

【答】第5次総計の実現を図っていく

【質問】

日本経済の不安的要素や人口減少が加速する中で、シビック構想実現

は、また可能性はあるのか。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

新庁舎はシビック交流



谷口重和
議員

拠点で建設し、山手線や周辺整備を行っていく。

介護施設はどうなった

【答】できる限り早い整備に努める

【質問】

前回は基金による補助を活用し、参入しやすい体制を整えたと聞いた。当該事業者へのアピール

は。

【答弁(介護医療課長)】

地域包括ケアシステム

において必要。早い時期の整備に努める。

不動産借地の解決を

【答】財政負担等を考慮し判断をする

【質問】

買収出来る所は買収し、不可能な場合は代替地を模索しては。

【答弁(町長)】

地権者の意向も踏まえ諸条件を考慮し早期に判断をする。

災害応援協定で次の市町は

【答】遠方自治体との協定に向け協議する

【質問】

岐阜の池田町、滋賀の甲賀市と協定が結ばれたが、西側の市町村はまだ

【答弁(総務課長)】

協定先の名はまだいえる段階ではないが早期締結に向け協議を進める。

である。いつごろか。

ため池に補助を

【答】調査結果を踏まえ検討する

【質問】

ため池管理と保全に町独自の寛大な補助施策はできないか。

【答弁(建設事業部長)】

ため池の調査結果を踏まえ検討していく。



処分した廃池

教育課題、学力向上と不登校減少を

【答】教職員の資質向上と環境整備の充実を図る



垣内秋弘
議員

【質問】

現在小中一貫教育を推進している中で、地域の特徴を活かし内容の充実した教育が求められているが、現状の分析と学力向上策は。

【答弁（教育部長）】

学力の状況は全国平均を上回っているが、小中

9年間での一貫した教育

が重要であり、小中授業行動の統一や授業展開の標準となるものを作成し、重点事項を中心に研修を重ね指導力向上に努める。

【質問】

不登校問題は全国的にも増加傾向にある中で、

本町においても当事者で

ある児童・生徒は何らかの悩みを抱えているが、不登校解消や未然防止に向けた取り組みは。

【答弁（教育長）】

全教職員が課題意識を持ちスクールカウンセラー等の専門家による対

応・助言や教職員の資

質・能力の向上、関係機関と連携し生徒指導や教育相談の充実、また、部会を定期的に開催し状況や指導の方向性を確認し環境整備の強化を図っている。

行政評価システムの進捗と公表は 【答】公表の方法や内容は検討中

【質問】

評価結果の公表方法や外部評価の手法等の検討結果と進捗状況は。

【答弁（町長）】

平成28年度の実施事業を平成29年度に評価し公

表する予定ですが、公表

の方法や、外部評価における対象事業は検討しているところである。外部による評価及び検証は、

全事業の評価を受けることは困難であり、評価対

象とする事業の検証も必要で、専門の学識経験者

と協議していきたい。

【答】京都府並びに関係機関と検討する 檜科の森林被害の防止を



檜枯れ

【質問】

檜枯れは全国的にも被害が拡大しているが、本町も例外ではない。防災面からみても重要な樹木であり早急な対策を。

【答弁（産業観光課長）】

本町では5年程前から

発生が確認されたが大きな発生に至っていない。

檜枯れが森林全体に広がると、災害防止や森林の水源涵養など悪影響を及ぼすため、関係機関と

対応を検討していきたい。



中学校の授業風景

英語が話せる職員の配置を

【答】職員採用時の選考基準の二要素にするのも

【質問】

近年、海外から多数の外国人が観光・就労と訪れている。また、東京オリンピック開催で本町にも観光等で来られたりす

る。また現在住んでおられる方々への対応、災害が発生する恐れのある場合への周知について早いうちから英語が話せる職員を配置し対応を図って

いくべきと考えるが。

【答弁(総務課長)】

本町においては現在、外国籍の方は、中国籍・韓国籍の方がほとんどで今後、職員の採用時に英語や中国語等の外国語を話せることを選考基準の一要素とすることも将来の国際化に対する対応策の1つではと考える。



上林昌三 議員



執務中の町職員

荒廃農地の市民農園整備化を

【答】荒廃農地対策については引き続き検討する

【質問】

空き家を活用する場合、その方が農作業を行いたいと希望された場合など、市民農園があれば有効活用できると思うが。

【答弁(産業観光課長)】

荒廃農地を活用した市民農園整備は農地の有効

利用、また荒廃農地の発生抑制の有効な手段であるが、トイレ、駐車場、水利等、諸課題があるが今後も検討する。

銘城台の街路樹整備は

【答】地元自治会とも協議して検討する

【質問】

当初は歩道に30本植えられていた街路樹が現在は18本になっている。大きくなりすぎ電線に架かる、大量の落ち葉で困る等があるが、多くの住民が復活を望んでいる。町の見解を。

【答弁(建設環境課長)】

これまでに除去した経過などを調査し自治会とも協議し交通安全なども考慮の上、検討する。



伐採された街路樹

認知症を知る取り組みを

【答】認知症サポーター養成講座を開催

【質問】

認知症に対してのチェック項目や、声かけの仕方、心構えなど聞ける機会をどう考えるかどうか。

【質問】
催し、認知症サポーターのノウハウを学んでいたが、より見守りやすい環境づくりに努める。

【質問】
介護予防教室や認知症カフェなどに集ってこられる方々への関わりなど

【答弁(介護医療課長)】
今年度中に、認知症サポーターの養成講座を開催する方々への関わりなど

対応は今後どう進めていくのか。

【答弁(介護医療課長)】

認知症カフェはただの居場所づくりの場ではなく、認知症の方が来られ

ても柔軟に対応できる専門職を配置。本人重視の支援を行い、認知症の初期段階から進行を防ぎ、予防する機能を担う。

健診の受診機会のさらなる拡充を

【答】受診率向上への方策検討・実施する

【質問】

手軽な健康チェックで異常を早期に発見し、医療機関の受診を促す、KDDIのインターネットサービス「スマホde(で)ドック」など、自分の健康対策について行動できる、健診機会の更なる拡充をどう考えるか。

かがか。

【答弁(介護医療課長)】

インターネットを通じてのサービスは、受診率の向上や検診に行けない方に対して有効な方策の一つと考える。今後も受診のきっかけとなるような方策を検討・実施し、受診率向上をめざしたい。



山内実貴子
議員

町のいいところ積極的に発信を

【答】ガイドブックの刷新・PRビデオの作成等進めている

【質問】

町の観光パンフレットが更新されると聞けが、まずは、町内の皆さんに宇治田原町を満喫して頂けるような情報発信をどう考える。こんなところがいいね!と言ってもらえるよう、積極的に取り組んで頂きたい。

【答弁(産業観光課長)】

今年度は観光ガイドブックの刷新、永谷宗円生家など日本遺産を巡る散策マップの作成、町の魅力を発信するPRビデオの作成を進めているほか、ウェブサイトの構築をめざす。



健康で元気に! (オヤジエクササイズ)



お茶のまち もっと発信を!

学童施設の改善を

【答】具体的な対応策を検討していく

【質問】

田原学童保育の施設

は、壁には無数に穴があ

き、紙で補修してある。

また床が数カ所へこみ、

いつ抜けるかわからない

危険な状況。床材や壁の

張り替えなど、早急に対

応すべき。

【答弁(教育部長)】

施設の課題や整備の対

応について、現在庁内で

協議中であ

り、具体的な

対応策を検討

していく。

【質問】

各小学校で

特別支援学級

に在籍してい

る児童が、1

年生から6年

生まで50人も

60人もいる中

で放課後を過

ぎしている。

加配職員を配置を。

【答弁(教育部長)】

全体の児童の状況や障

介護保険制度の改悪に反対を

【答】住民負担が少なくなるよう国に要望する

【質問】

介護保険制度は、見直

しのたびに保険料が値上

がりしているが、その反

面、制度は後退している。

一定所得のある人の利

用料が1割から2割に

なったが、対象者は何人

か。またその影響は。

【答弁(介護医療課長)】

要支援、要介護認定を

受けている467人中、

2割負担は27人。高額介

がいのある児童の支援す

べき内容を照らし合わ

せ、配慮していく。

護の上限額(3万720

0円)が設定されてお

り、一定の歯止めがか

かっている。特に意見等

は聞いていないが、毎

年、更新時に状況を把握

し、制度の運営や要望時

の参考としていきたい。

【質問】

要支援1、2の訪問介

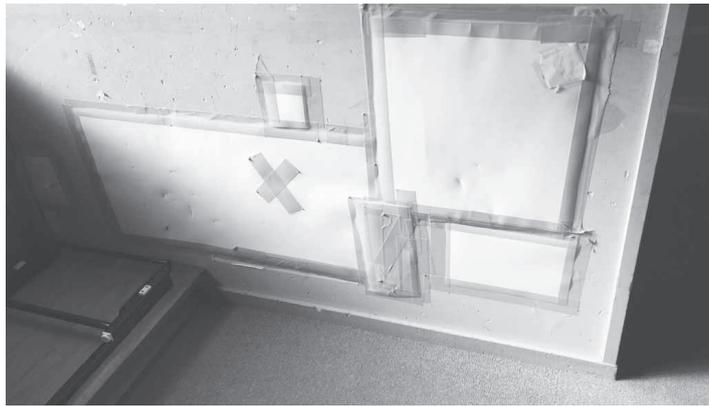
護、デイサービスを保険

から外し、市町村が実施

することとなった。対象



今西久美子 議員



穴があき、紙で補修してあるカベ(田原学童保育所)



安心して介護がうけられるように

者からはどうなるのかと
いう不安の声を聞してい
る。具体的にどのよう
にしていくのか。

【答弁(介護医療課長)】

現行の訪問介護、通所

介護については、そのま

ま新しい地域支援事業に

移行する。

【質問】

次期見直しにあたって

は、要介護1、2の人の

掃除、調理、買い物など

の「生活援助」を保険給

付から外すことや、要介

護2以下の人の福祉用具

のレンタル料を、現在の

1割負担から原則全額負
担にすることなどが検討
されている。高い保険料
をとってにおいて、負担増
とサービス切捨てを進め
るなど国家的詐欺と言わ
れても仕方がない。国の
制度改悪に対し、きつぱ
り反対を表明すべき。

【答弁(町長)】

住民の方の負担をでき

るだけ少なくすることや

介護保険制度を持続可能

なものにしていくために

も、国に対し、強く要望

していく。

ゴミの個別収集の手法など具体策は

【答】7年前より協議はしていたが、具体策に至っていない

【質問】

平成27年9月議会に於いて本町は坂道も多く、

高齢者や独居老人に対し、その必要性や、都市部の自治体でゴミ出しが困難な高齢者や障がい者など対象に、安否確認を含めた個別収集がされて

いるが、との質問に対し

て「個別に相談があれば、対応していく。又、

ステーションが遠い等の問題は移設を含めて協議していく」と答弁された。平成21年9月議会から7年経過したが、今後どの様に具体策を講じる

のか。

【答弁（建設環境課長）】

7年前の質問以来、協議は行ったものの具体的な取り組みに至っていない。近隣市町での実施例を参考に、高齢者や障がい者など対象者の要件を整理し、対象者数や収集

方法、体制など、議論していく。

【意見】

戸別収集は都市部では、早くから生活弱者を対象に実施。町長が日頃から言われている住民目線に立つて早急な実施を要望する。



原田周一
議員

高齢者などの買い物難民対策は

【答】地域公共交通検討委員会で検討していく

【質問】

緑苑坂は開発以来15年以上経過し、1000人を超える地域になっている。高齢者も増えており、運転免許証の返納や、高齢者だけの世帯も

あり、買い物に出かけるにも不自由な思いをされている方もいる。

路線バスの利用、知り

合いの車に乗せてもらっ

たりしている。

路線バスの交通費も毎

日の為、負担も大きい。地域公共交通検討委員会が立ち上がったが、買い物難民・高齢者の外出手段としての対策の検討は。

【答弁（建設環境課長）】

検討委員会は8月30日第1回目を開催し、現状と他府県の事例説明をした。定住対策等も含めた委員会にしたい。

緑苑坂地区は人口が今

後も伸びる事が望め、町

人口の増加に直結する地



町内巡回のチャッピー号

域である。路線バスの運行も含め協議して行きたい。

【意見】

公共交通の利用は、地域で誰でもいつでも利用できる住民の足となるべきもの。

居住場所が交通空白地とならない様、検討願

たい。



集積場からのゴミ収集

「学力」京都府No.1を目指そう

【答】達成に向けて全力で取組む

【質問】

「第5次まちづくり総合計画」の教育施策に関して、若い世代が居住地を選ぶ理由に教育環境が充実していることを挙げている。住みたい街に選ばれる人口が増え続けている近隣の京田辺市や木津川市に負けない「教育環境充実の町」として生き残っていくためには、

京都府ナンバーワンの学力を目指すべきと考えるが、教育長のご所見はどうか。

【答弁(教育長)】

個々の希望進路を実現するためには、確かな学力が必要であり、まずは

総合計画で設定した目標値をクリアした上で、議員ご提案の京都府ナンバーワンの達成に向けて全力で取組む。

このため、教育委員会として学校・家庭・地域が同じ方向につながっていくよう積極的に関わっていきたく考えている。

公共下水道特別会計の健全化への取組みは 【答】独立採算制を採る公営企業会計への移行を検討している

【質問】

公共下水道特別会計は、毎年約1億7千万円を一般会計から繰入れて貰い収支を保っている。汚水処理原価は類似団体平均の288円に対し376円と3割も高いが、

使用料単価は148円に対し130円と低く設定されているため、経費回

率率は63%に対し35%と相当低い水準となっている。これでは到底健全な財政運営とは言えない。今後、どのような経営改善に取組まれるのか。

【答弁(町長)】

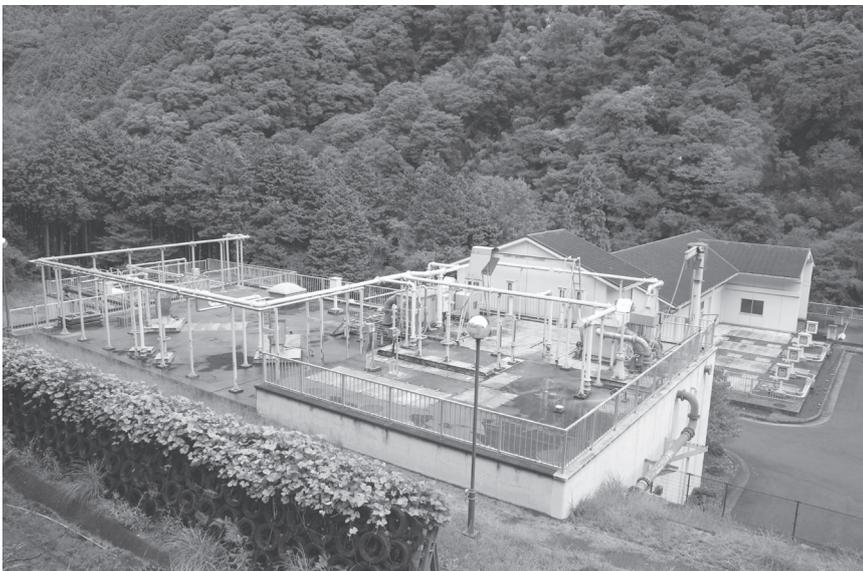
公共下水道事業の経営に要する経費は、経営に伴う使用料収入をもって充てる独立採算性が原則



稲石 義一
議員

である。このためには、高い汚水処理原価の低減や使用料単価の見直しも視野に入れる中で、著しく低い経費回収率を早期に類似団体並に引き上げなければならぬと考えている。

これら健全化対策の取組みの第一歩として、地方公営企業法の適用を受ける企業会計への移行を検討しているところである。



下水道処理場

研修報告

総務建設・文教厚生常任委員会の合同研修は、平成28年7月26日～27日にかけて実施した。

島根県邑南町

●日本一の子育て村構想

立ち上げまでの経緯

・平成22年4月に施工された「過疎地域自立促進特別措置法の改正法律」に基づき、「日本一の子育て村」と称して保育料の無料化、中学生までの医療費の無料等の負担軽減の政策を目玉に戦略を

具現化し実行してきた。

●子育て村構想が目指す

理念

・日本一の子育て村を目指すにあたり、町民が丸となつて子育てに対する取り組みを進める。その結果「日本一の子育て村を住民が実感できる町に」
・子どもは未来の邑南町を担う大切な財産、若者も住みやすいと感じる定住促進を図る。

住促進を図る。

●日本一の子育て村

構想

・定住促進課を平成23年度から設置。
・平成16年の合併以降5年間は、その成果を上げるために取り組んだが、5年間で1,000人減少

したため、他の自治体に先んじて人口減少対策（子育て村構想）着手

（子育て村構想）着手

・生涯学習推進のため公民館の体制充実（町職員1名、館長1名、職員1名）3名体制で運営、子どもは地域で育てる。
・日本一の子育て村推進体制の確立。
・攻めと守りの定住プロジェクトを平成23年度から。

ら。

攻めⅡ A級グルメ構想商標登録 5年間

守りⅡ日本一の子育て村を目指し、きめ細かい制度により下支えする。
・教育①医療福祉従事者確保奨学金制度。
②邑南町にある県立矢上高校への支援。

島根県大田市

●定住対策の推進及び成果

平成19年度から「第一次定住促進ビジョン」により、また、平成25年度からは「第二次定住促進ビジョン」により、各種の定住施策を展開してきた結果、『2015日本「住みたい田舎」ベストランキング』において、総合1位を獲得された。

●大田市の主な定住対策

・定住推進員の配置

定住案内人として、定住情報の発信、定住相談、移住者へのフォローアップ、空き家活用対策などを行っている。

・定住サイトの開設
空き家情報、定住支援策、Uイーターナーの声など各種情報を発信している。

ている。

・雇用・就業環境の整備・支援
無料職業紹介所を設置し、多くの求人情報を収集し、働く場所の範囲拡大を図っている。

・空き家バンク制度
市内にある空き家の所有者にバンク登録を促



し、情報発信により、定住希望者に紹介している。

・新婚さんが住まい応援事業
新婚世帯が市内の民間賃貸住宅に移住する場合の賃貸費用の一部を助成している。

・多世代同居近居支援事業
親・子孫の多世代で、同一の住宅または2キロメートル以内に居住する場合に一定額を助成している。



り組んだが、5年間で1,000人減少

守りⅡ日本一の子育て村を目指し、きめ細かい制度により下支えする。



・空き家バンク制度
市内にある空き家の所有者にバンク登録を促

し、情報発信により、定住希望者に紹介している。

第5回 議会報告会開催

第1部：議会報告

◇総務建設常任委員会

●委員会付託議案審査

●やんたん未来プラン

●宇治田原町防災マップ

◇文教厚生常任委員会

●委員会付託議案審査

●国民健康保険

●子育て支援施策の新たな取組み

◇予算特別委員会

●委員会付託議案審査

●平成28年度当初予算概要

●J R奈良線関連議案修正案

●正動議



【平成28年8月7日(日)】

議会改革の一環として、住民に開かれた議会を目指し、議会の活動内容を広く情報発信するために始めた議会報告会も今回で第5回目を迎えました。

私たちの暮らしと切り離せない『行政の取組み』を、チェック機能である議会の立場から報告するとともに、住民の皆さんと意見交換を行うものです。

今回の報告会は、本年3月及び6月定例会での審査内容を中心に、次の構成で行いました。

第2部：意見交換

(テーマ)

①新庁舎

予定候補地として「シ

ビック交流拠点」が上っ

ていることについて

②山手線

京都府が着手準備調査を

実施するなど、一歩前進

したことについて

③空き家対策

近年増加している空き家

の活用方策について

④子育て支援

子育て支援に対する各種

支援策について

⑤健康長寿社会

真の「健康長寿のまち」

を実現していくための取



り組み

⑥その他

□意見交換で出された意見

●新庁舎は何をおいても

早くやってほしい。基本

的には来庁者が使いやすい

建物であること。

●空き家対策について、

宿泊施設に活用する場合

の助成制度などはどう

なっているのか。

●子育て支援としての学

童保育事業について、指

導員の加配制度がないが

どうなのか。また、施設

の老朽化について、議会

ではどう考えているのか。

●健康長寿に関するセミナーについて、魅力的で実益のあるものに行きたいか。

●中学生の不登校が増えている。学校への復帰の方法等について取組み強化を図りたい。

●議会報告会について、定例会ごとに開催できないか。(年2回を4回に)

◆今回、アンケート調査や意見交換会で頂きました貴重なご意見については、今後の議会活動及び次回の報告会に活かして参りますので、宜しくお願い致します。

たに むら みのる
谷 村 稔 さん



「湯屋谷宗円さんの里づくり会」会長の
谷村稔さんにインタビューしました。

Q. 会長さんとしての思いをお聞かせください。

A. 永らく手入れがされていなかった、宗円生家が宗円翁顕彰会の力で2007年度に立派に修復されました。今後、この生家を大切に守り続ける中で“煎茶の祖”の残り香を感じるような茶文化の発展に繋げることができればうれしいです。

Q. お世話をされる中で感じられることは。

A. 多くの見学者の皆さんに心から「ありがとうございます」との思いを常に持っていますが中でも遠方からの訪問者が「歴史書の中にある古道を実体験できて感謝しました」との言葉を頂戴する折には安堵すると同時に一層の努力が必要だなと感じています。

Q. これからの課題点はありますか

A. この地を訪れていただく皆さんに自然体のおもてなしができるように気さくな案内ガイドさんが1人でも多くなっていただけるような方策を町とともに考えたいと思います。



宗円生家



「趣味はゴルフと晩酌ですか」とさりげなくお答えになる様子に、会長としての貫録を感じました。



玉入れ (町民体育大会)



きずな玉 (田原小)



くす玉割り (うぐいす幼稚園)

玉・玉の競技

次回議会の予定
〈12月定例会〉
12月7日(水)開会日
詳しい予定はHPにてお知らせします

今号の表紙

消防団総合訓練での一コマ。暑い日差しの下、日頃の訓練成果を披露する団員の皆さん。

災害に備えて、基本動作を確認。

編
集
後
記

立冬(11月7日)の頃は1年の季節の中でも寒暖の差が最も激しい時期です。くれぐれもご自愛ください。

さて役員改選で広報担当となり早や2年、議会基本条例も施行4年目を迎え、この間、住民福祉向上にどう役立てるかの観点から、傍聴制度の改善、自由討議の実施など様々な取り組みを行いました。

今号が現メンバーでの最終発行です。次号より、新メンバーとなります。今後共、ご愛読のほど、よろしくお願いたします。

広報編集副委員長 奥村